

2021年11月22日
九州電力株式会社

福岡県糟屋郡新宮町相島における
「Qでん にぎわい創業プロジェクト」の事業化を決定しました

— 相島の産業規模拡大に向けたビジネスプランを策定 —

当社は、地域の皆さまと協働で持続可能なビジネスモデルを構築し、地域の課題解決に貢献する「Qでん にぎわい創業プロジェクト（以下、本プロジェクト）」に取り組んでおり、本年4月より新たに福岡県糟屋郡新宮町相島の「相島活性化協議会」（代表者：篠崎^{しのざき} 直壽^{なおとし}）等とビジネスプランの検討を行ってまいりました。（2021年4月8日お知らせ済み）

今回、これまでの検討結果を踏まえ、相島における本プロジェクトの事業化を決定しました。本プロジェクトの事業化決定は、長崎県東彼杵町での事業開始に続く2例目となります。（2020年11月11日、2021年2月26日お知らせ済み）

今回の事業では、これまで相島の住民の皆さまとの対話で得られた課題やニーズを基に、「10年後のありたい姿」を掲げ、「担い手不足」という課題の解決に向けて、3つの対策（産業創出、暮らし、移住者）に、三位一体（相島、新宮町、当社）で取り組み、関係人口・定住人口の創出を目指します。その中でも、本プロジェクトでは、特に「産業創出」に寄与する取組みとして、魚の加工食品事業を進めてまいります。

魚の加工食品事業

鮮度の良さが売りである一本釣り漁法により漁獲した魚を活用し、2022年4月から棒寿司の販売を予定しています。

（段階的に商品を開発・販売）



棒寿司 商品イメージ

本件は、九電グループ経営ビジョン2030に掲げる戦略の一つである「持続可能なコミュニティの共創」に向けた取組みの一環です。当社は、引き続き「九州から未来を創る九電グループ」の実現を目指してまいります。

以上